

## 平成25年度対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「カール・ヒュースナー記念病院医療機材整備計画」贈与契約署名式

2014年3月14日、当館小山一等書記官は、ベリーズのベリーズ・ベリーズシティにあるカール・ヒュースナー記念病院を訪問し、平成25年度対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「カール・ヒュースナー記念病院医療機材整備計画」贈与契約式に出席し、キム・バロウ女性と子供特使（首相夫人）と同契約へ署名しました。

ベリーズでは、キム・バロウ特使が中心となり、カール・ヒュースナー記念病院に小児集中治療病棟を建設していますが、十分な医療機材を揃えるための予算がありませんでした。このプロジェクトは、多くの子供達の命を救うために、同病院へ小児用の医療器材を提供することとしています。

本件署名式へは、キム・バロウ特使、カール・ヒュースナー記念病院のロングワース病院長など約30名が出席しました。挨拶を行った小山書記官は、日本政府は、人間の安全保障との観点から、子供たちなど弱い立場の市民を守るための支援を重視していると述べました。また、本年は、日カリブ交流年であり、同病院への支援を通じ日本とベリーズの友好が一層深まることを期待したいと述べました。



小切手の引渡し



6月完成予定の小児集中治療病棟